

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 5 月 20 日現在

機関番号：11101

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2010～2013

課題番号：22520707

研究課題名(和文) 中央アジア出土古代ウイグル語帳簿資料の基礎的研究

研究課題名(英文) Basic Research on the Old Uigur Account Books Unearthed from Central Asia

研究代表者

松井 太 (Matsui, Dai)

弘前大学・人文学部・教授

研究者番号：10333709

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,700,000円、(間接経費) 810,000円

研究成果の概要(和文)：中央アジア(現在の中国新疆ウイグル自治区)出土の古代ウイグル語(古代トルコ語)文献のうち、これまでに言語文献学的にも歴史学的にも十分に利用されていない帳簿資料を抽出・集成して解読し、歴史学的研究が依拠できる校訂テキストを準備する作業を行なった。さらに、それらの校訂テキストを歴史学的に利用して、西暦10～14世紀の中央アジア社会・経済の諸側面を解明した。

研究成果の概要(英文)：This research project targeted the Old Uigur account books unearthed from Central Asia (mainly modern Xinjiang), to which little attention has been paid from the philological and historical viewpoints. In the project the comprehensive philological edition of the account books was prepared, though it is not yet finished. However, on the basis of the edition of respective manuscript, the project could product a series of works for historical reconstruction of the economic and cultural aspects of the Old Uigur society.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・東洋史

キーワード：中央アジア ウイグル 古文書 帳簿 税役制度 仏教 東トルキスタン 新疆

### 1. 研究開始当初の背景

(1) イスラーム化以前(西暦16世紀まで)の中央アジア(東トルキスタン、甘肅地方)地域の歴史研究において、中央アジア現地から発掘・将来された古代ウイグル(古代トルコ)語・モンゴル語・チベット語・漢語などの出土文献資料の利用が不可欠である。

(2) このうち、古代ウイグル語文献は、総体としてはおおむね西暦10~14世紀に年代比定され、その中には、多数の社会経済文書(契約文書・行政命令文書・帳簿・書簡など)が含まれる。これらの古代ウイグル語社会経済文書の分析を通じて、編纂史料中に情報の少ない10~14世紀の中央アジア地域の歴史を再構成することが可能となる。

(3) 古代ウイグル語社会経済文書のうち、これまで歴史的にも言語学的にも十分に注意されていない資料群として、各種の出納にかかわる帳簿資料がある。これらの帳簿資料は、10~14世紀の中央アジア=ウイグル人社会の経済史的・物質史的諸側面を具体的に提示し得るものである。

### 2. 研究の目的

(1) 古代ウイグル語帳簿資料群を網羅的に抽出・集成して文献学的な解読校訂を施しつつ、歴史資料として利用するための基礎的条件を整備する。

(2) 校訂したテキストを歴史的に分析して、10~14世紀の中央アジア=ウイグル社会経済史の諸側面を解明する。

### 3. 研究の方法

(1) これまでに確認し得た総計170点ほどの古代ウイグル語帳簿資料の校訂(テキスト転写・翻訳)を行ない、資料集として公刊する。全世界のウイグル語文献研究者への資料提供という意義を考慮し、翻訳に際しては、日本語訳とともに英訳を準備する。

(2) その際には、校訂テキストに基づいて帳簿資料の内容分析と分類を行なう。ほとんどの帳簿資料の内容は、諸種の物品・その数量、それらを支出・受領した人名が記される程度で、きわめて情報量が少ない。しかし、これらの記載内容を徹底的に検討すると、いくつかの指標(行政上の籍帳/私的記録、収入簿/支出簿、個人単位/組織単位など)によって分類できる。このような分類作業は、帳簿資料の内容理解・テキスト校訂とも唇歯輔車の関係にあり、さらには断片資料についても性格・機能を推定して歴史資料として捉えることを可能にする。

(3) 古代ウイグル語帳簿資料には、記載されている人名(僧名)や術語から、特に仏教教団に関係することが確実なものが約40点含

まれる。これらを、その他諸種のウイグル語世俗文書と組み合わせて検討することで、仏教教団の経営実態や、それを支える地域経済・広域宗教ネットワーク(“本山・末寺”関係)を歴史学に考察する。

(4) その他、中央アジア地域史の再構成にとって重要な情報を含む資料は、選別のうえ個別論文において分析検討する。

### 4. 研究成果

(1) 研究期間の4年間を通じて、約170件の古代ウイグル語帳簿資料の解読・ローマ字テキスト転写作業を行なった。

(2) しかし、これらの帳簿資料中には、既存の辞書に含まれない不明語が予想以上に多く確認され、解読校訂作業はきわめて困難であった。従って、帳簿資料の解読校訂テキストおよび翻訳を集成し、歴史学的研究が依拠するに足る資料集として刊行する段階にはなお至っていない。今後、中央アジア地域で使用されていた非ウイグル語(ソグド語・トカラ語など)の語彙との比較から、不明語を解明していく必要がある。

(3) 内容分類作業については、行政上の籍帳/私的記録への分類作業を中心に行なった。ただし、この作業結果も、上記の不明語の解読の進展に応じて変更される可能性がある。

(4) 一方、個別の帳簿資料をその他諸種のウイグル語文書と関連させて歴史的に分析する作業については、下記のように、一定の成果を提出することができた。これらにより、「中央アジア=ウイグル社会経済史の諸側面の解明」という、もう一つの当初の研究目的については、相当程度に達成できたと考える。

① 税役関係の出納簿の情報をその他の諸種文書と比較検討することを通じて、モンゴル時代(13~14世紀)のウイグル社会には、行政的な十進法住民組織と並行して相互扶助組合的組織が遍在し、種々の経済活動の主体となる一方、税役徴発に際しても実質的にその負担の単位として機能していたことを解明した【論文①】。

② 西ウイグル時代(10~12世紀)の帳簿資料のデータを、同時期の行政命令文書の分析に利用し、税として徴発されていた種々の物品の価格・実態価値に関する知見を示した【論文②】

③ 帳簿資料その他のウイグル語文献にみえる地名に関する歴史地理学的分析を行ない、現在の新疆の各都市との比定に成功した【論文②③④】。これは、研究方法(3)に言及したような、ウイグル仏教教団の経済ネットワークと信仰圏の拡がり进行分析の上での基礎

作業となり得るものである。

④イスタンブル大学所蔵写真資料に、ソグド語・ウイグル語の2言語で書かれ、かつマニ教徒と仏教徒との経済的協力を示す帳簿資料を発見し、校訂と分析を提示した【論文⑥】。この文書は、10~11世紀頃のイラン系ソグド人とトルコ系ウイグル人の文化的・言語的・経済的接触をうかがわせる貴重な材料となる。

⑤仏教教団の経営に関わる帳簿資料の内容分析の過程で、ウイグル仏僧の日常的信仰や宗教巡礼慣行を把握する必要性が認識され、これらに関するデータの把握・整理を平行して行なった。そのような、ウイグル仏教徒の日常的・民間的な仏教信仰の様態や、巡礼活動の地理的規模に関する知見についても、機会に応じて個別の論考を発表した【論文④⑦⑧⑨⑩⑬】。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 13 件)

- ① Dai MATSUI, *Borun and Borun-luq in the Old Uigur Legal Documents*. In: M. Ölmez (ed.), *Beşbalıklı Şingko Şeli Tutung ansına Uluslararası Eski Uygurca Araştırmaları Çalıştayı (4.-6. June 2011, Ankara)*, Ankara: Türk Dili Kurumu, 2014, 印刷中【査読無】
- ② Dai MATSUI, *Old Uigur Toponyms of the Turfan Oases*. In: E. Ragagnin / J. Wilkens (eds.), *Kutadgu Nom Bitig*, Wiesbaden: Harrassowitz, 2014, 印刷中【査読無】
- ③ Dai MATSUI, *Ürümçi ve Eski Uygurca Yürüngçin üzerine*. In: H. Şirin User / B. Gül (eds.), *Yalın Kaya Bitigi: Osman Fikri Sertkaya Armağanı*, Ankara: Türk Kültürünü Araştırma Enstitüsü, 2013, pp. 427-432. 【査読無】
- ④ 松井太「敦煌諸石窟のウイグル語題記銘文に関する筈記」『人文社会論叢』人文科学篇 30, 2013, pp. 29-50. 【査読無】
- ⑤ Dai MATSUI, *Uigur kâzig and the Origin of Taxtion System in the Uigur Kingdom of Qoço*. *Türk Dilleri Araştırmaları* 18 [2008], 2013, pp. 229-242. 【査読有】
- ⑥ Dai MATSUI, *A Sogdian-Uigur Bilingual Fragment from the Arat Collection*. 新疆吐魯番學研究院 (編)『語言背後の歴史：西域古典語言學高踏論壇論文集』上海古籍出版社, 2012, pp. 115-127. 【査読無】
- ⑦ Dai MATSUI, *Uighur Almanac Divination Fragments from Dunhuang*. In: I. Popova / Liu Yi (eds.), *Dunhuang Studies: Prospects and Problems for the Coming Second Century of Research, St. Petersburg*, 2012, pp. 154-166. 【査読有】

- ⑧ Dai MATSUI, *Uighur Scribble Attached to a Tangut Buddhist Fragment from Dunhuang*. In: Rossiskaja Akademija Nauk Institut Vostochnoykh Rukopisej (ed.), *Tanguty v Czentral'noj Azii: Sbornik statej v chest' 80-letija professora E. I. Kychanova*, Moscow, 2012, pp. 238-243. 【査読無】
- ⑨ 松井太「敦煌出土西夏語佛典に挿入されたウイグル文雜記」『人文社会論叢』人文科学篇 27, 2012, pp. 59-64. 【査読無】
- ⑩ 松井太「敦煌出土のウイグル語曆占文書：通書『玉匣記』との関連を中心に」『人文社会論叢』人文科学篇 26, 2011, pp. 25-48. 【査読無】
- ⑪ 松井太「古ウイグル語文献にみえる「寧戎」とベゼクリク」『内陸アジア言語の研究』26, 2011, pp. 141-175.
- ⑫ 松井太「西ウイグル時代のウイグル文供出命令文書をめぐって」『人文社会論叢』人文科学篇 24, 2010, pp. 25-53. 【査読無】
- ⑬ Dai MATSUI, *Uigur Manuscripts Related to the Monks Sivšidu and Yaqšidu at "Abita-Cave Temple" of Toyoq*. 新疆吐魯番學研究院 (編)『吐魯番學研究：第三屆吐魯番學暨歐亞游牧民族的起源與遷徙國際學術研討會論文集』上海古籍出版社, 2010, pp. 697-714. 【査読無】

[学会発表] (計 11 件)

- ① 松井太「敦煌莫高窟・榆林窟的回鶻文・蒙古文題記銘文續考」2013年12月21日, 蘭州大學敦煌文獻講座(蘭州・蘭州大學敦煌研究所)
- ② Dai MATSUI, *Turfan'daki Eski Uygur Emirnamelerinin Tarihlenmesi*. 2013年10月1日, VIII. Milletlerarası Türkoloji Kongresi (İstanbul Üniversitesi, Edebiyat Fakültesi / Türkiyat Araştırmaları Enstitüsü)
- ③ 松井太「古代ウイグル語の行政文書：税役関係文書を中心に」2013年9月22日「ユーラシア東部地域における公文書の史的展開：胡漢文書の相互関係を視野に入れて」(「シルクロード東部の文字資料と遺跡の調査」科学研究班・中央ユーラシア学研究会共催ワークショップ)
- ④ 松井太「敦煌諸石窟のウイグル語題記銘文」2013年7月13日, 第50回日本アルタイ学会(野尻湖クリルタイ)
- ⑤ Dai MATSUI, *Old Uigur Inscriptions in the Mogao and Yulin Caves*. 2012年11月24日, 西域・中亞語文學國際學術研討會(北京：中央民族大學)
- ⑥ 松井太「旅順博物館と龍谷大学の大谷探検隊将来ウイグル語世俗文書」2011年10月10日, 国際シンポジウム「中央アジア出土の仏教写本」(龍谷大学)
- ⑦ Dai MATSUI, *Yarliq as Not Seen in the Old Uigur Administrative Orders from East Turkistan*. 2011年7月15日, International Workshop: Comparative Research on

- Iranian-Islamic and Mongolian-Chinese Aspects of the Ardabil Documents in the Ilkhanid-Mongol Period. (大阪大学)
- ⑧ Dai MATSUI, *Borun and Borun-luq* in the Old Uigur Legal Documents. 2011年6月5日, Beşbalıklı Şingko Şeli Tutung Anısına Uluslararası Eski Uygurca Araştırmaları Çalıştayı. Ankara, Türk Dili Kurumu.
- ⑨ Dai MATSUI, A Sogdian-Uigur Bilingual Fragment from the Arat Collection. 2010年10月24日, Turfan Forum on Old Languages of the Silk Road. (新疆吐魯番學研究院)
- ⑩ 松井太「内陸アジア出土資料からみたモンゴル時代のユーラシア交流」2010年8月10日, 大阪大学歴史教育研究会大会「阪大史学の挑戦2」(大阪大学中之島センター)
- ⑪ Dai MATSUI, Taxation Systems and the Old Uigur Society of Turfan in the 13<sup>th</sup> – 14<sup>th</sup> Centuries. 2010年6月23日, Collegium Turfanicum 50. Berlin-Brandenburgische Akademie der Wissenschaften (Berlin)

〔図書〕(計0件)

〔その他〕(計4件)

- ① 松井太「モンゴル時代の東西交易」岡本隆司(編)『中国経済史』名古屋大学出版会, 2013, pp. 175-176.
- ② 松井太「契丹とウイグルの関係」荒川慎太郎・澤本光弘・高井康典行・渡辺健哉(編)『契丹〔遼〕と10~12世紀の東部ユーラシア』(アジア遊学160)勉誠出版, 2013, pp. 56-69.
- ③ 松井太「ウイグル人と交易活動」歴史学研究会(編)『世界史史料4・東アジア・内陸アジア・東南アジアII・10-18世紀』岩波書店, 2010, pp. 34-36.
- ④ 松井太(廣中智之:譯)「吐魯番出土回鶻文書中所看到的七康湖和其灌溉」『吐魯番學研究』2010-1, 新疆吐魯番學研究院, 2010, pp. 79-81.

ホームページ等

<https://hirosaki-u.academia.edu/DaiMatsui>

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

松井 太 (MATSUI, DAI)

弘前大学・人文学部・教授

研究者番号: 10333709